



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月6日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL <http://www.jcm-hq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 平成30年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,585	3.9	996	3.4	1,450	36.3	1,047	130.8
30年3月期第2四半期	14,995	△2.0	963	△16.1	1,064	88.0	453	12.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 314百万円 (43.7%) 30年3月期第2四半期 218百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	35.33	—
30年3月期第2四半期	15.70	15.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	39,187	32,922	84.0	1,110.67
30年3月期	40,377	32,874	81.4	1,108.57

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 32,922百万円 30年3月期 32,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
31年3月期	—	8.50	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	0.5	1,550	13.0	1,800	56.2	1,050	13.6	35.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期2Q	29,662,851株	30年3月期	29,662,851株
31年3月期2Q	21,080株	30年3月期	21,056株
31年3月期2Q	29,641,800株	30年3月期2Q	28,892,025株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、主要国間の貿易摩擦問題に起因する景気の下振れリスクを抱えながらも、米国・欧州ともに総じて緩やかな拡大が継続いたしました。また、国内経済は、多発する自然災害による経済活動への影響が懸念されますが、企業収益や雇用・所得環境の持続的な改善を背景に、景気は回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境について、ゲーミング市場では、北米地域において減税効果によるとみられるカジノホールの設備投資は堅調であり、コマース（金融・流通・交通等）市場では、アジア地域での需要は軟調であったものの、日本国内では堅調な需要がみられました。一方、遊技場向機器市場では、業界における規制強化の影響を受け、顧客の設備投資意欲の減退傾向が続きました。

このような状況において、当社グループでは、ゲーミング市場向けには、既存・新規を問わずカジノホールの需要確保に向けて紙幣識別機ユニットの積極的な販売活動に取り組み、また、コマース市場向けには、高付加価値製品の販売拡大と東南アジアを中心とする新規市場の開拓に努めました。遊技場向機器市場向けについては、主力製品であるメダル自動補給システム等の販売を中心に市場シェアの維持に努めてまいりました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、155億85百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。利益面については、営業利益は9億96百万円（前年同四半期比3.4%増）、経常利益は外貨建資産に係る為替時価換算差益の計上などにより14億50百万円（前年同四半期比36.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億47百万円（前年同四半期比130.8%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル108.52円（前年同四半期は112.13円）、ユーロは130.70円（前年同四半期は122.25円）で推移いたしました。また、当第2四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル113.60円（前連結会計年度末は106.31円）でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域における旺盛な買替需要が追い風となり、紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が好調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は89億53百万円（前年同四半期比15.4%増）、セグメント利益は21億14百万円（前年同四半期比43.2%増）となりました。

②海外コマース

欧州地域における紙幣識別機ユニットの販売は増加いたしました。アジア地域における販売が低調であったことなどにより、当セグメントの売上高は19億43百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益は64百万円（前年同四半期比79.1%減）となりました。

③国内コマース

OEM顧客向け貨幣処理機器ユニット及び紙幣識別機ユニットの販売が好調であったことなどにより、当セグメントの売上高は13億41百万円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント利益は1億24百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

④遊技場向機器

メダル自動補給システム及び玉貸機などの主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は33億48百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。利益面につきましては、事業再構築プランによる諸経費の圧縮効果は下期に向けてその成果が表れつつありますが、一方で、当該市場における販売価格の低下が進む状況を勘案し、財務健全化を目的として棚卸資産の一部について評価額の切り下げを行ったことから、セグメント損失は4億12百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億89百万円減少し、391億87百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億5百万円減少し、264億76百万円となりました。在庫が10億25百万円減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億84百万円減少し、127億10百万円となりました。「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだことにより、無形固定資産が4億42百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億37百万円減少し、62億65百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が5億53百万円、「未払法人税等」が1億60百万円、「事業構造改善引当金」が1億33百万円、それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて48百万円増加し、329億22百万円となりました。在外子会社の時価評価による為替換算調整勘定が6億63百万円減少し、利益剰余金が7億95百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加し、100億13百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、17億55百万円の資金の増加となりました。税金等調整前四半期純利益14億64百万円、棚卸資産の減少7億81百万円などの資金の増加を計上いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億80百万円の資金の減少となりました。有形固定資産の取得による支出2億53百万円などの資金の減少を計上いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、2億77百万円の資金の減少となりました。配当金の支払額2億51百万円などの資金の減少を計上いたしました。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額27百万円の資金の増加がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

北米ゲーミング市場は、引き続き好調を維持するものと思われませんが、欧州ゲーミング市場では、本年11月実施のゲーム機に関する基準改定(規制強化)により、近年続いておりました好調な需要も落ち着いてくるものと想定しております。一方、国内外のコマーシャル市場につきましては、キャッシュレス化の動きはあるものの、各国市場に特有のニーズ等を反映したビジネスチャンスを見込んでおります。

また、遊技場向機器市場につきましては、停滞する設備投資の動向に大きな変化は見られず、厳しい環境が続くものと想定しております。

以上の事業環境に対する認識を踏まえ、ゲーミング事業及びコマーシャル事業につきましては、進行年度より取り組んでおります当社グループの事業基盤の再構築の一環として新たに立ち上げたグローバル統轄本部を軸に、営業活動をはじめ、開発、生産、品質、グローバル人材等に至るまで、国内外グループ会社間での連携強化、業務執行のスピード化を図り、より一層のグローバル展開を進めてまいります。

また、遊技場向機器事業につきましては、前期より取り組んでいる再構築プランを継続して推し進めるとともに、財務体質の更なる健全化に向け、収益基盤の整備に取り組んでまいります。

以上のことから、平成31年3月期の通期業績予想数値につきましては、「親会社株主に帰属する当期純利益」について若干修正いたしますが、基本的に平成30年10月15日付にて発表した業績予想数値から大きな変更はありません。今後の需要動向などにより業績への影響が生じたときは、内容を確認の上、適時開示が必要な場合には速やかに公表してまいります。

なお、昨年11月13日付にて発表いたしました「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅲ)につきましては、現在、「ローリングプラン(Ⅳ)」として策定作業に入っておりますので、策定完了後、速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,908,786	10,147,519
受取手形及び売掛金	6,373,385	5,891,812
有価証券	90,553	33,236
商品及び製品	7,643,992	6,304,366
仕掛品	557,802	698,541
原材料及び貯蔵品	2,957,304	3,130,488
その他	844,838	445,357
貸倒引当金	△194,891	△174,906
流動資産合計	27,181,771	26,476,417
固定資産		
有形固定資産	4,967,151	4,952,401
無形固定資産		
のれん	2,052,272	1,904,965
技術資産	301,341	252,969
顧客関連資産	3,011,584	2,799,248
商標権	404,088	375,107
その他	130,028	124,157
無形固定資産合計	5,899,315	5,456,449
投資その他の資産		
その他	2,383,576	2,356,830
貸倒引当金	△54,690	△54,690
投資その他の資産合計	2,328,886	2,302,140
固定資産合計	13,195,353	12,710,990
資産合計	40,377,125	39,187,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,291,816	2,738,216
未払法人税等	776,180	615,619
賞与引当金	391,096	341,631
役員賞与引当金	12,000	9,000
事業構造改善引当金	133,930	—
その他	2,330,660	2,090,259
流動負債合計	6,935,683	5,794,727
固定負債		
その他	567,330	470,453
固定負債合計	567,330	470,453
負債合計	7,503,014	6,265,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,759,048	2,759,065
利益剰余金	27,515,256	28,310,404
自己株式	△19,010	△19,064
株主資本合計	32,472,240	33,267,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443,467	374,355
為替換算調整勘定	△55,580	△719,478
その他の包括利益累計額合計	387,886	△345,123
新株予約権	13,984	—
純資産合計	32,874,111	32,922,228
負債純資産合計	40,377,125	39,187,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	14,995,819	15,585,959
売上原価	9,104,589	9,718,749
売上総利益	5,891,230	5,867,210
割賦販売未実現利益戻入額	25,206	30,212
割賦販売未実現利益繰入額	11,420	8,308
差引売上総利益	5,905,015	5,889,114
販売費及び一般管理費	4,941,512	4,892,742
営業利益	963,503	996,371
営業外収益		
受取利息	1,624	4,285
受取配当金	14,085	17,402
為替差益	96,108	386,418
その他	13,356	48,803
営業外収益合計	125,175	456,909
営業外費用		
支払利息	22,220	429
その他	2,053	2,178
営業外費用合計	24,274	2,607
経常利益	1,064,404	1,450,674
特別利益		
固定資産売却益	343	996
投資有価証券売却益	3,786	—
新株予約権戻入益	—	13,984
特別利益合計	4,130	14,980
特別損失		
固定資産除却損	198	1,034
訴訟関連費用	227,893	—
特別損失合計	228,092	1,034
税金等調整前四半期純利益	840,443	1,464,620
法人税、住民税及び事業税	352,879	444,051
法人税等調整額	33,865	△26,535
法人税等合計	386,745	417,516
四半期純利益	453,697	1,047,103
親会社株主に帰属する四半期純利益	453,697	1,047,103

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	453,697	1,047,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270,562	△69,111
為替換算調整勘定	△505,743	△663,898
その他の包括利益合計	△235,180	△733,010
四半期包括利益	218,517	314,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,517	314,093
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	840,443	1,464,620
減価償却費	480,121	447,987
のれん償却額	94,753	92,467
引当金の増減額(△は減少)	△16,471	△201,548
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,786	—
受取利息及び受取配当金	△15,710	△21,687
支払利息	22,220	429
為替差損益(△は益)	△89,072	△324,959
有形固定資産除売却損益(△は益)	△145	37
新株予約権戻入益	—	△13,984
訴訟関連費用	227,893	—
売上債権の増減額(△は増加)	△56,735	327,575
たな卸資産の増減額(△は増加)	33,079	781,642
仕入債務の増減額(△は減少)	△282,758	△408,140
未収消費税等の増減額(△は増加)	59,040	147,030
その他	△205,939	53,850
小計	1,086,932	2,345,320
利息及び配当金の受取額	15,365	21,342
利息の支払額	△22,220	△429
訴訟関連費用の支払額	△137,293	—
法人税等の支払額	△300,981	△610,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,802	1,755,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△111,060
有価証券の純増減額(△は増加)	65	27
有形固定資産の取得による支出	△389,709	△253,758
有形固定資産の売却による収入	352	1,563
無形固定資産の取得による支出	△20,082	△15,835
投資有価証券の取得による支出	△1,131	△1,347
投資有価証券の売却による収入	4,834	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405,671	△380,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△2,766,720	—
配当金の支払額	△226,795	△251,202
リース債務の増加による収入	1,605	—
リース債務の返済による支出	△39,684	△26,660
自己株式の取得による支出	△193	△113
自己株式の売却による収入	—	76
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	3,279,300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,512	△277,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,951	27,560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,691	1,125,133
現金及び現金同等物の期首残高	7,146,931	8,888,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,618,623	10,013,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,760,977	2,074,430	1,129,101	4,031,309	14,995,819	—	14,995,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,760,977	2,074,430	1,129,101	4,031,309	14,995,819	—	14,995,819
セグメント利益又は 損失(△)	1,477,229	310,057	114,478	△19,555	1,882,210	△918,707	963,503

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,953,376	1,943,280	1,341,058	3,348,245	15,585,959	—	15,585,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,953,376	1,943,280	1,341,058	3,348,245	15,585,959	—	15,585,959
セグメント利益又は 損失(△)	2,114,804	64,949	124,074	△412,160	1,891,668	△895,296	996,371

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。